

ごあいさつ ≫ GREETING



さいたま市スポーツ少年団
バスケットボール部会 理事長

岩男 光子

さいたま市でTOMAS CUPを開催するようになってから、早12年が経ちました。途中、コロナ禍で開催できなかった年もありましたが、今年度も「TOMAS CUP 2024 第11回さいたまミニバスケットボール大会」が開催できますことを大変嬉しく思っております。また、2012年の第1回大会以来、この大会をご支援頂いております株式会社リソー教育グループ様には心より御礼申し上げます。

さいたま市スポーツ少年団には、14種目220団以上の少年団が登録しております。バスケットボールは、サッカー、軟式野球と並び、登録団数も多く、2024年度は64団(男女合計94チーム)が所属し、登録選手数も中学生以上の団員を含めると2,400名を超えております。

スポーツ少年団の大会には、競技力の向上だけでなく、団員相互の交流と、協力しあうことを通じて友情を深めるという目的があり、バスケットボール部会では、小学生対象の春季・冬季ミニバスケットボール大会、シティカップ招待大会、トーマスカップ、中学生対象の春季・冬季ジュニアリーダー大会を開催し、年間を通じてチームおよび団員の交流を図っております。

TOMAS CUPは、試合の機会が少ないチームや選手数の少ないチームも参加できる大会です。今までに参加した選手の多くは、中学・高校、さらにはその先まで、バスケットボールへの情熱を抱き続け、それぞれの場所で活躍してくれていることでしょう。今大会に参加される選手みなさんにも、バスケットボールの楽しさや、試合の面白さを感じると共に、仲間と協力することの大切さや周囲への感謝の気持ちを持って、参加したチームとの交流と友情を深めていただきたいと思います。

最後になりましたが、今大会の開催にあたりご尽力いただきました、株式会社リソー教育グループ様、一般社団法人バスケットボールジャパンアカデミー様、また運営に携わる全ての関係者の皆様に感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、さいたまのミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で11回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後の大会ともいえるこのイベントを、このような形で毎年応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、技術の上達や体力の向上だけでなく、チームワークやフェアプレーの精神、スポーツマンシップや相手を尊重する気持ち、勝利の喜びや負けたときの悔しさ、思いやりや友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

日本のバスケットボール界は現在B.LEAGUEを中心にとっても盛り上がっているようです。そしてそこから世界に羽ばたいている選手たちも数多くいます。NBAへの挑戦を本格的に進めている選手や、すでに現地で活躍している選手など、もしかしたらそれは皆さんの将来の姿かもしれません。今日の今の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さん自身がチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。